



令和6年
10月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 井上 雅 規

10月14日は、いろんな記念日です！

少しずつ秋らしさを感じるようになってきました。昔から「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」と言われてきましたが、本格的にそう感じられるようになりました。さて、表題にもありますように、今年の「10月14日」は、いろんな意味があります。一つは、「中番小学校創立記念日」です。時は遡ること明治26年4月、当時の中番村字森ノ本206番地において、仮校舎で「中番小学校」が開校。同年10月、同地に新校舎が落成し、創立記念式典が挙行されました。以来、幾度かの学区変更や名称変更を経ながら、脈々とその伝統が受け継がれ、地域の学び舎として現在に至っています。本年は、創立131周年を迎えることとなります。

もう一つは、「スポーツの日」です。1964年の東京オリンピック開会式にちなみ、当初は10月10日を「体育の日」として制定されていましたが、ハッピーマンデー構想と、昨今の名称変更も相まって、今年の10月第2月曜日である10月14日はスポーツの日ということで祝日となります。ちなみに、これまでの「国民体育大会」いわゆる「国体」が、今回から「国民スポーツ大会」略して「国スポ」に名称変更され、佐賀県をメインに開催されています。その他「鉄道の日」でもあるようですね。歴史的なことに思いをはせたり、スポーツに親しんだり、また、鉄道について調べたりする一日になってもいいですね。

“あきらめない心～マラソンがくれた幸せ～”をわたしたちに

去る9月18日（水）には、オープンスクールを開催しましたところ、たくさんの方々にご来校・ご参観いただきましてありがとうございました。道徳・人権の授業参観では、オリンピック・パラリンピック学習も交えた題材で、子どもたちの心の学習をご覧いただけたのではないかと思います。また、人権講演会・ブラインドマラソン体験では、リオ・パラリンピック5位入賞のブラインドマラソンランナー近藤 寛子 選手による「あきらめない心～マラソンがくれた幸せ～」と題したご講演や高学年児童によるブラインドマラソン体験も観覧いただけたことと思います。笑顔あふれる、ウェルビーイングな一日となりました。

一人一人が幸せを実感し「今日も学びたい、明日も行きたい。」ウェルビーイングな中番小学校の実現に邁進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



“失ったものを数えるな 残されたものを最大限に生かせ” パラリンピック創設者 グットマンの言葉
それでもやります 中番小学校 「中番一番」